今でも

結核は身近な感染症です！

日本国内では、毎年１万人以上の新たな結核患者が発生し、そのうち約１，５００人の方が結核で亡くなっています。

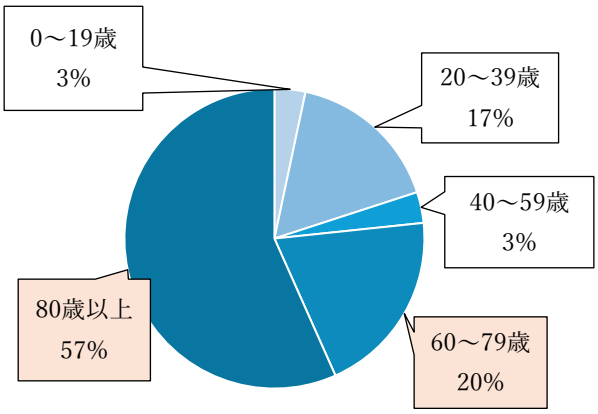
北播磨圏域でも毎年５０人前後の新たな結核患者が発生しており、**「結核＝昔の病気」**ではありません。

≪北播磨圏域の結核の特徴≫

①　結核患者の約８割は 60 歳以上！

新たに保健所に届出が出る結核患者の約８割は 60 歳以上の方です。

高齢者の多くは、知らず知らずのうちに感染した結核菌が加齢や免疫の低下等により再び活動を始めています。



②　外国人患者の割合が年々増加！！

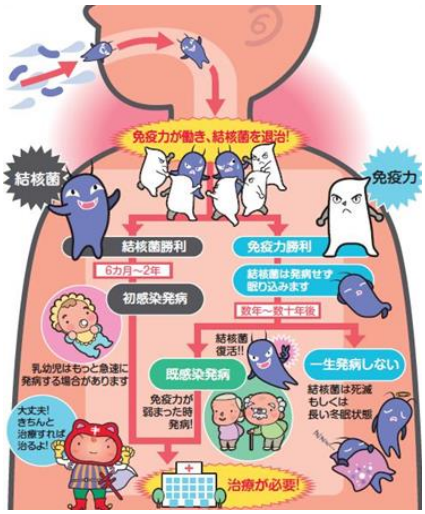
ここ数年、結核が多い東南アジア地域から日本に来る外国人労働者が増加傾向にあります。日本に来てから食生活や生活環境等の違いによりストレスを抱え、免疫力が落ちる等の影響により結核を発病する外国人患者の割合が年々増えています。

③　健診の長期未受診者が多い！！！

新たに届出された結核患者の中には、長年胸部レントゲン検査を受けていない方が多く見られます。また、咳やたん、微熱の症状を風邪だと思い込んで受診しない方もいます。

結核は早期発見・早期治療が重要ですので**年に１回は『胸部レントゲン検査』**を受けましょう！

結核はどんな病気？



結核は、咳やくしゃみの飛沫（しぶき）の中に含まれる結核菌を吸い込むことによってうつる感染症です。

ただし、感染しても必ず発病する訳ではありません。多くの場合、身体の免疫の力によって活動は抑えられるため、発病はしません（感染≠発病）。

しかし、加齢や糖尿病・腎疾患、免疫抑制剤等の服薬などによって免疫機能が低下すると身体の中にある結核菌が活動し始めるため発病しやすくなります。

どんな症状があるの？

結核は、咳、たん、微熱等の風邪に似た症状で始まることが多く、このほかにも身体のだるさ、食欲不振、体重減少等の症状があります。

高齢の方では無症状の方も多く、特に注意が必要です。

① 年に１回は胸部レントゲン検査を受けましょう。
② 咳、たんなどの呼吸器症状や微熱、身体のだるさなどが２週間以上続く場合は早めに医療機関を受診しましょう。
③ 栄養バランスのとれた食事を摂り、規則正しい生活をして免疫力を高めましょう。

≪結核に関するお問い合わせ・相談先≫
加東健康福祉事務所（加東保健所）
健康管理課　　TEL：0795-42-9436